

社会教育の実践を通じた
コミュニティの可能性

ともに学ぶ 共生社会を目指して

お申込はお早めに!

参加費無料
定員200名

2020(土)
2/22



主催：医療法人稲生会／文部科学省
後援：札幌市教育委員会／北海道教育委員会(予定)
共に学び、生きる共生社会コンファレンス in北海道
10:00～16:00
札幌市生涯学習センター ちえりあ
(札幌市西区宮の沢1条1丁目1-10)

受付 9:30～10:00

第1部 開会行事・シンポジウム (10:00～12:00)

共生社会の実現が謳われるいま、この社会のあらゆる構成員がともに学ぶことから始めるとしたら、ともに学ぶコミュニティとは。そしてともに学ぶ方法論とは。その可能性をともに探究します。

- 向谷地 生良 氏 (北海道医療大学 看護福祉学部 臨床福祉学科 教授)
 宮崎 隆志 氏 (北海道大学大学院 教育学研究科 教授)
 堀田 聡子 氏 (慶応義塾大学大学院 健康マネジメント研究科 教授)
 熊谷 晋一郎 氏 (東京大学 先端科学技術研究センター 准教授／コメンテーター)
 土畠 智幸 氏 (医療法人稲生会 理事長／コーディネーター)

Café Saboccha
12:00～15:15



あたらしい「学び」で頭があふれそうになったらカフェでちょっと一息。パラスポーツ界で話題のボッチャ体験やコミュニケーションツールの展示もあります!

第2部 分科会 (13:00～15:00)

第一分科会

語り合おう

ともに生きる地域コミュニティについて
～障害があってもなくても～

- ・大久保 薫 氏 (社会福祉法人あむ)
- ・大原 裕介 氏 (社会福祉法人ゆうゆう)
- ・日置 真世 氏 (地域生活支援ネットワークサロン)

3名のゲストスピーカーの実践をもとに参加者と繰り広げるディスカッションを通じて、障害者とそうでない人とが「ともに生きる」コミュニティのあり方を探求します!

第二分科会

企画してみよう

障害のあるひとないひと
いっしょに楽しむイベントってどんなもの?

- ・加藤 久実子 氏 (NPO法人障がい児の積極的な活動を支援する会 にわとりクラブ)
- ・杉澤 洋輝 氏 (いっしょにね!文化祭実行委員会) (株式会社らむれず 代表取締役社長)
- ・五十嵐 真幸 氏 (カムイ大雪バリアフリーツアーセンター)

障害の有無にかかわらず「ともに楽しむ」イベントを企画するにはどうしたらよいだろう。道内の実践者とともに、仲間づくりの方法や障害を越えて楽しむ仕掛けなどを考えます!

第三分科会

みんなが抱える モヤモヤをワクワクへ

～障害の種別を超えたその先に～

- ・DPI北海道ブロック会議
- ・チャレンジキャンパスさっぽろ
- ・みらいつくり大学校

知的障害、精神障害、身体障害。法律で区切られた障害のなまえは様々だけど、抱えるモヤモヤは一緒かもしれない。頭にぐるぐるめぐる思いを出し合って、ワクワクに変えてみよう!

第3部 まとめ (15:15～16:00)

第1部(抽象的概念)から第2部(多種多様な具体的実践例)を通じて得られたたくさんの「学び」を持ち寄って、私たちの未来が指し示す方向性を共有します。